



油ヶ淵流域でイベント開催するときは、県環境部Webサイト「エコリンクあいち」に登録してね★



目次

- モニタリング活動報告
- 第2回三河湾大感謝祭を開催します！
- 油ヶ淵浄化デーに係る一斉清掃活動が行われました
- 水質パトロール隊 活動取材
- 連載 油ヶ淵のいきものたち⑨
- アクション油ヶ淵 2015 を開催しました！

モニタリング活動報告(8、9月分)

〇8月〇〇

〇猛暑で夕方調査した。孫と水生生物を調査しました。小魚、鯉、ムツ、めだか、おたまじゃくし。今回はスジエビ、どじょうが見当たりませんでした。 ※一部省略

【準】道田川・上流

〇晴天がつづいているが、水量はいつもより多い。田んぼ用に明治用水の水を流していると思われる。

【半場川・惣山橋】

〇9月〇〇

〇樋門開いており、油ヶ淵へ流入していた。(流入状態がよく見えた)

【上池右岸・流入都下】

〇9月に入り雨が続いた影響か、沢渡川は濁水であった。しかし、長田川はきれいに見えた。

【準】沢渡川

★8月前半は猛暑日が続きましたが、8月後半から9月にかけては天気がずっと崩れていました。濁水の流入が多いようで、9月の透視度のモニタリング結果は、全体的に例年よりも低い値でした。

第2回三河湾大感謝祭

を開催します！

愛知県では、「きれいで、豊かな、親しめる海、『三河湾』」を目指して、多くの皆さんに三河湾への関心を持ってもらうために、「第2回三河湾大感謝祭」を開催します。

今回は、本年6月に設立した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」の会員による活動発表、三河湾のアサリ等を食材とした「ガマ・ゴリうどん」の無料試食会、三河湾の恵みを味わう海の幸の出店、カラー魚拓作りなどの参加型ブースの出展や、クルージングなど楽しい企画を多く用意しています。

クルージングは事前申込となっております、10月5日(月)まで募集しています。ぜひとも参加して、楽しみながら三河湾の魅力を感じてみてください！

【開催概要】

1 日時

平成27年10月18日(日)
午前9時～午後3時

2 会場

大浜漁港

3 主催

(碧南市築山町1-70)

4 共催

愛知県
碧南市

5 参加費

無料

(海の幸の出店を除く)

クルージングの申込方法などの詳細はWebページにアクセス！



油ヶ淵浄化デーに係る 一斉清掃活動が行われました



毎年7月第4日曜日は「油ヶ淵浄化デー」です。今年度もこの日に合わせて碧南市、安城市、西尾市、高浜市は油ヶ淵とその流入河川の一斉清掃活動を行いました。

今年度は4,500名以上の方々が参加し、約1.7tものゴミを回収しました。

また、今年度から、浄化デーの一斉清掃活動に永年参加している団体に対して、油ヶ淵水質浄化促進協議会から感謝状を贈呈しています。今年度は6団体が対象となり、浄化デー当日に各市長から感謝状を受け取りました。

いつかゴミのないきれいな水辺になるとよいですね。皆さんお疲れ様でした！

今年度の表彰団体

いつもありがとうございます！

- 西部連合町内会（碧南市）
- 西端区（碧南市）
- ガールスカウト愛知県第43団（安城市）
- 安城市婦人会協議会（安城市）
- 米津小学校区町内会（西尾市）
- ボーイスカウト高浜第1団（高浜市）



清掃活動の冒頭で、各市長から感謝状が贈呈されました。



★各市ごとの実施結果★

【碧南市】

実施日	7月26日(日)
参加人数	698名
ゴミ回収量	870kg

【安城市】

実施日	7月26日(日)
参加人数	1,670名
ゴミ回収量	590kg

【西尾市】

実施日	7月19日(日)
参加人数	1,800名
ゴミ回収量	200kg

【高浜市】

実施日	7月26日(日)
参加人数	410名
ゴミ回収量	70kg



参加者は各自袋を持って湖岸や堤防を清掃しました。



水質パトロール隊 活動取材

今回は**豊明エコキッズ**について
紹介します！



水質パトロール隊事業
キャラクターかっばとくん

豊明エコキッズは、小学1年生から6年生、中学2年生約15人と指導者約5人が参加しています。水質パトロール隊の活動に参加するのは今年で8年目。昨年度は最優秀賞を受賞しています。



慣れた様子で透視度計を使っています。

今回の取材は、8月1日(土)に皆瀬川で行いました。CODパックテストや透視度計を使い水質調査を行います。結果は、CODの値が5mg/L、透視度計の値が100cm以上でした。

また、並行して行った生きもの観察では、アメリカザリガニやカダヤシ、イトトンボなどを見つけました。

捕まえた生きものを熱心に観察しています。



調査に参加していた子どもたちに話をきくと、「川に入ると調査をすることが好き。」「川の水を守るために廃油せつけんを使ったり、シャンプーを少なめにしている。」と答えてくれました。

油ヶ淵のいきもの 第9回



このコーナーでは、油ヶ淵に足を運べば簡単に見られるような、ポピュラーな生きものを取り上げます。
今回は県内の至るところで見ることのできるチョウをご紹介します。



表の紺色がきれいなメス。ちなみに、はねを開いたときに見える面が「表」です。

No.11 ツマグロコウモリ

分類 むし



全体にオレンジ色のはねで、下のはねの下側に黒い帯があるのが特徴。メスは紺色や白い帯の模様を持ち、彩り豊かです。

幼虫のエサはスミシシで、パンジーなどの栽培種も好んで食べるため、見つけたことがある方も多いのでは。黒いからだにオレンジ色の模様を持つ幼虫で、一見トゲが生えているように見えますが、触ってみると痛くありません。

市街地・林のまわり・草原などに生息。愛知県内の至るところで見られますが、元々は西日本を中心に生息していたチョウ。温暖化の影響等で北へ分布を広げていると言われており、関東周辺でも普通に見られるようになりました。

★紹介した生き物は、Webサイト「油ヶ淵電子図書館」のコンテンツ「生きもの発見! 図鑑」にも掲載しています。

→ウナギの成魚を放流。元気に海まで泳いでいくように願いを込めてバイバイ！



←簡単な水質調査を通して、生活排水対策の大切さを学びました。



←4～7人乗りの小型船に乗って、湖上から見る油ヶ淵は新鮮。

→座学では、油ヶ淵に関する基礎知識、ウナギの放流について説明。



参加してくれて
ありがとう！



編集後記

9月28日は地球と距離が近くなって、月が大きく見える「スーパームーン」でした。前日27日は中秋の名月で、2夜連続の天体ショー。美しい月を眺めていると、心がほっと和みます。皆さんはご覧になりましたか。(牧原)

アクション油ヶ淵2015を開催しました！

9月8日(火)、油ヶ淵水質浄化促進協議会の主催で「アクション油ヶ淵2015」を開催しました。今年度のアクション油ヶ淵は、油ヶ淵下池のすぐそばにある勤労青少年水上スポーツセンターで行われ、「乗船体験」や、体験講座「生きものつれあおうー」、ウナギの放流体験など、多くの体験型プログラムを実施しました。当日はあいにくの雨となっていましたでしたが、西尾市立米津小学校の4年生の皆さんや一般市民の方など約130名の方が参加、1日の体験を通して、油ヶ淵の環境や水質汚濁の状況、生きもの大切さについて理解を深めました。

油ヶ淵流域市民モニタリング
ふちもに情報局
vol. 72
平成27年9月発行

発行
愛知県環境部水地盤環境課
調整・生活排水グループ
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1-2
電話:052-954-6219
Mail:mizu@pref.aichi.lg.jp

- ★協力団体★
ご協力ありがとうございました！
- ・油ヶ淵漁業協同組合
- ・(公社)日本モーターボート選手会
- ・一色うなぎ漁業協同組合
- ・衣浦マリーナ



←においは？色は？バケツですぐの間近で見る油ヶ淵の水を皆で確認します。

→たらいの中の魚にタッチ！生きものに実際に触れる時間は大盛り上がりでした。

